

会 議 録

会議の名称	平成29年度（第1回）白岡市総合教育会議	
開催日	平成29年6月12日（月）	
開催時間	午前11時から 午後0時5分 まで	
開催場所	白岡市立菁莪小学校	
出席者（出席構成員）の職・氏名等	白岡市長 小島卓 白岡市教育長 長島秀夫 白岡市教育長職務代理者 村田裕滋	白岡市教育委員 牛田文子 白岡市教育委員 新井二郎 白岡市教育委員 清水律子 (計：6人)
欠席者（欠席構成員）の職・氏名等	なし (計：0人)	
事務局職員の職・氏名	副市長 秋葉清一郎 教育部長 野口仁史 教育総務課 参事兼課長 河野 彰 教育指導課 参事兼課長 辻文明 生涯学習課 課長 齋藤 久 教育総務課 課長補佐 岡安久美子 教育総務課 主査 木村真由美	総合政策部長 秋葉宏和 企画政策課 課長 篠塚淳 企画政策課 課長補佐 長倉健太郎 企画政策課 主査 濱田貴央 企画政策課 主事 相子純一
その他会議出席者	傍聴 3名	
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 菁莪小学校に関することについて (2) 平成29年度の教育関係事業について 4 その他 5 閉会	
配布資料	・会議次第 ・小中連携について ・学校トイレ洋式化事業の状況について ・白岡市子どもの情報端末利用のルール策定づくり ・白岡市生涯学習センターの整備	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">資料1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">資料2-1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">資料2-2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">資料2-3</div>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
秋葉部長	<p>1 開会 秋葉総合政策部長の進行により会議開会。</p>
小島市長	<p>2 あいさつ 小島市長から開会挨拶が行われた。</p>
小島市長	<p>3 議事 小島市長が議長となり、議事進行が行われた。</p>
辻参事	<p>(1) 菁莪小学校に関すること（小中連携について） 教育指導課（辻参事）から資料に基づき、説明が行われた。</p>
A委員	<p>(質疑) 菁莪小学校と中学校が連携して行っている事業が4つあるという説明があったが、その中で「小中合同あいさつ運動」と「授業参観交流会」の実施頻度を教えていただきたい。</p>
辻参事	<p>「小中合同あいさつ運動」については、中学校の生徒会が主体となり小学校に何って定期的に開催をしている。 また、「授業参観交流会」は、中学生がどのように授業を受けているのかを小学生が参観できるように研究授業の形式で行っている。年間を通して開催しているが、特に、年度初めを中心に開催している。</p>
C委員	<p>小中連携の取組は、中1ギャップの問題もある中、地域の教育を生かして成果があるものとして推進されているものである。 市内の状況をみても、いろいろな条件が整わないと充実した小中連携はできないものと感じている。菁莪小学校と中学校の場合は、両校とも近く、地域に根ざして協力的に活動をしているものと感じており、よい条件が整っている。 これから菁莪小学校と中学校において更なる連携を進めていくのであれば、埼玉県や埼玉葛地区などの中でも、特にモデル校として研究・発表ができるようにその事業を自発的に高めていっていただきたい。 また、連携の中で小学生が卒業後に中学校に行くにあたり、小学生は部活動に</p>

<p>A委員</p>	<p>高い関心を持っていることから、部活動での交流会などができればよいのではないか。地域活動も含め、運動会での交流会などを通してより深い連携を進め、成果をあげていていただきたい。</p> <p>小中連携は、非常に大切な話で、これからも緊密に連携をとって推進していただきたいと思いますと感じている。</p> <p>市内の状況を考えると、菁莪や南の学区のように小学校1校がそのまま中学校に進む学校の場合は小中連携が図りやすい。しかし、篠津や白岡の学区のように複数の小学校が1つの中学校に進む場合は、小中連携を推進することが難しいと思うが、是非とも進めていただきたいと感じている。</p> <p>また、特に防災上の連携を推進してほしいと感じている。これは、東日本大震災があった時、地域の連携の大切さを学んだというのがその理由にある。</p> <p>父親や母親が共働きで有事の際、誰が小学生達を自宅まで連れて行くのかという問題もある。日頃から、防災マニュアルに基づいた小中連携が備わっているべきであると感じている。これからは、防災の観点をもって小中連携を考えてほしい。</p>
<p>辻参事</p>	<p>防災という観点から小中連携を考えた時、本市においてはまだ課題があるものと感じている。菁莪小学校については、引渡し訓練として、中学生が小学生を迎えにきて一緒に帰るという取組を数年前まで行っていたところである。</p> <p>今後は、小中連携については、地域の方々にも入っていただき、小中連携の取組を進めていければよいと考えている。災害はいつ発生するかわからないため、学校の安全主任が集まる会議や校長会での会議などで研究をしてまいりたい。</p>
<p>D委員</p>	<p>教職員合同研修会について、主に教育相談を行うとのことだが、この中で問題のある児童の把握はしているのか。また、その児童への対応などに関する話し合いなどは行っているのか。</p>
<p>辻参事</p>	<p>教職員の合同研修会については、市内すべての中学校区で行っている。例えば、菁莪小中学校の場合は、学校が近いので一緒に実施し、教育指導課の指導主事やスクールソーシャルワーカー（カウンセラー）も一緒に立ちあって児童生徒の状況等についての話をしているところである。また、篠津中学校区においては、篠津、白岡東、大山の3小学校となることから、対象の学校が集まれる夏休み中に教員同士で研修会を実施している。</p>
<p>B委員</p>	<p>私も菁莪小学校と中学校に伺う機会があり、連携事業の様子を見たが、子ども達が非常に穏やかに活動をしていて、交流の場として小中の連携が取れていると感じたところである。</p>

	<p>課題として人事異動等による先生の異動が挙げられているが、その点も克服できるように工夫した対応をお願いしたい。</p>
A委員	<p>小中連携をしている菁莪小学校の児童は減少傾向にある。</p> <p>「小中連携」と「小中一貫」の違いがあるとして、将来、菁莪地区で「小中一貫」となった場合、どのような課題が考えられるのか。</p>
辻参事	<p>「小中一貫」となると「小中連携」がもう少し発展したものである。</p> <p>「小中一貫」と聞くと学校を統廃合するイメージがある。</p> <p>はじめに前置きをするが、教育委員会としては菁莪小学校の統廃合について全く考えていない。</p> <p>なお、「小中一貫」の捉え方としては、小学校の6年間と中学校の3年間を合わせて9年間を同じ目標を持って過ごしていくもので、一番の課題は、それぞれの目標を同じにして、それを9年間のカリキュラムの中にどのように位置づけていくのかである。</p> <p>特色が表れるという意味では、「小中一貫」としたほうが利点はある。小中連携を深めるという意味では、小中一貫を考える必要性がでてくるのではないかと考えている。</p>
	<p>(2) 平成29年度の教育関係事業について</p>
河野参事	<p>① 学校トイレ洋式化事業の状況について</p> <p>教育総務課（河野参事）から資料に基づき、説明が行われた。</p>
辻参事	<p>② 白岡市子どもの情報端末利用のルール策定づくり</p> <p>教育指導課（辻参事）から資料に基づき、説明が行われた。</p>
齋藤課長	<p>③ 白岡市生涯学習センターの整備</p> <p>生涯学習課（齋藤課長）から資料に基づき、説明が行われた。</p>
C委員	<p>(質疑)</p> <p>トイレの洋式化について、将来的には和式トイレはすべて撤去していくのか。</p> <p>和式トイレは1つの文化であるので、全部撤去するのではなく、一部でも残すべきと考えるがいかがか。</p>
河野参事	<p>洋式トイレを嫌がる児童もいることから、和式トイレをすべて撤去するのではなく、当分の間は一部で残す方向で考えている。</p>
A委員	<p>スマートフォンと携帯電話について、現在、各学校の対応をお伺いしたい。</p> <p>教育委員会からの指示ではなく、みんなで一緒に考えるルールづくりを考えて</p>

<p>辻参事</p>	<p>いるようだが、教育委員会はどのように関わっているのか。</p> <p>各校の取組については、情報端末に対する関心は高く、各校には埼玉県のネットアドバイザーを招いて使い方の指導を受けたりしている。また、携帯電話会社でも教育プログラムがあり、そこから講師派遣が行われている状況もある。</p> <p>教育委員会の関わりとしては、「白岡市子どもの情報端末利用策定委員会」において、教育委員会を中心に情報端末の利用方法に関する話し合いを進めている。また、現在では、子どもと親を対象にアンケート調査を実施して、その集計結果を取りまとめているところである。</p> <p>速報値ではあるが、そのアンケート結果について申し上げますと、まず、所持率（スマートフォン以外にもゲーム機やタブレット端末、音楽プレーヤーなどのインターネットに接続できる機器も含める）は、小学校6年生では92%、中学校3年生では95%と高い所持率となっている。</p> <p>次に、家庭での使用のルールづくりについては、小学校は73%、中学校では59%となっている。</p> <p>これらのアンケート結果からも使用のルールを策定して、学校、教育委員会、保護者が一緒になって取り組んでいく必要があると考えている。</p>
<p>A委員</p>	<p>学校に持参してはいけないというルールは、各校共通なのか。</p>
<p>辻参事</p>	<p>原則、どの学校も学校内での所持は認めていない。</p> <p>ただし、学校の許可を得て必要があると判断できる場合は所持を認めている。学校に関係のないものは持ってきてはいけないというルールに基づいている。</p>
<p>B委員</p>	<p>資料2-2では、中学生による意見交換会が9月に計画されているが、どのような内容なのか。</p>
<p>辻参事</p>	<p>ワークショップのような形で自分達の学校での取組などを話し合うことで会議を進めることを考えている。生徒達の意見を尊重して、子ども達の実態にあったものを利用のルールとして作っていきたい。</p>
<p>C委員</p>	<p>「こもればの森」の建設について、この施設は災害時、白岡市の避難所としての機能を有した施設となるのか。</p>
<p>齋藤課長</p>	<p>市の地域防災計画の中では、この「こもればの森」を避難所として位置づける予定はない。ただし、非常電源設備（72時間対応）の設置や大雨時の浸水を想定して文化財などの重要なものは3階に収納するものである。</p> <p>また、非常時の市民の方々やJR白岡駅・新白岡駅における帰宅困難者の受け</p>

長島教育長	<p>入れも対応するものである。</p> <p>学校トイレの洋式化の話について、避難所の話と合わせて話をしたい。</p> <p>この学校トイレの洋式化は体育館も含まれているようであるが、菁莪小学校では、1階のところにも多目的トイレが設置されたので、仮に菁莪小学校が避難所となっても利用に支障がなく安心したところである。</p>
B委員	<p>多目的トイレの設置の話は、今後、各校において設置を進めていく計画はあるのか。</p>
河野参事	<p>現在では、多目的トイレは多くの学校で設置されているが、学校単位で最低でも1箇所は設置することを検討していきたい。</p>
小島市長	<p>以上で、本日の議事は終了とする。</p> <p>円滑な議事進行にご協力を賜り、感謝申し上げます。</p>
篠塚課長	<p>4 その他</p> <p>次回の総合教育会議の予定について説明。</p> <p>(質疑)</p> <p>なし。</p>
秋葉部長	<p>5 閉会</p> <p>秋葉総合政策部長の閉会宣言により終了。 【12:05 終了】</p>